

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354
 西日本支部：〒651-2239 神戸市西区櫛谷町松本 234 川崎重工業（株）西神戸工場内
 TEL：078 (991) 1133 FAX：078 (991) 3186

第 70 回理事会開催される

第 70 回理事会が、4 月 18 日（金）の 15：30 ～ 16：50 までの間、東京プリンスホテル 11 階の「高砂」の間で開催された。定刻に事務局から理事の出席状況について理事総数 29 名のうち、出席理事 21 名及び監事 2 名の出席があり、定款の定めるところにより本理事会が有効に成立している旨報告し、議長に協 会長が就任し議事が進行した。当日は、来賓として経済産業省製造産業局産業機械課の須藤産業機械課長殿及び金澤産業機械課課長補佐殿の 2 人がご臨席され、須藤産業機械課長殿から、1. 最近の政策の中身、2. 下請ガイドライン、3. 来年度以降の政策課題等について挨拶を兼ねた解説があった。その後、議長は議事録署名人として定款で定められている澤田監



第 70 回理事会

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

| | | | |
|---------------------|---|----------|----|
| 第 70 回理事会開催 | 1 | 技術調査事業 | 6 |
| 平成 25 年度の事業・経理監査の実施 | 4 | 広報・PR 事業 | 6 |
| 委員会開催・活動状況 | | 中小企業関連事業 | 7 |
| 国際交流事業 | 4 | 会員ニュース | 7 |
| 標準化事業／ISO 対策事業 | 5 | 工業会ニュース | 8 |
| 標準化事業／規格事業 | 5 | 統計資料 | 12 |

(一社) 日本フルードパワー工業会
 URL : <http://www.japan-fluid-power.or.jp/>

事及び数井監事の両名を指名した後審議に入り、提案した第1号議案及び第2号議案は承認され、第3号以下の議案も了承された。

第70回理事会議案

1. 平成25年度事業報告及び収支決算（案）の件
2. 新理事及び新監事候補者（案）の件
3. 平成26年度収支予算修正の件
4. 会員の入退会の件
5. 生産性向上投資促進税制に関する証明書の発行の件
6. 消費税転嫁カルテルの件
7. 平成26年・年度油空圧機器需要見通しの件
8. その他（出荷動向、今後のスケジュール等）

資料1号で平成25年度事業報告書（案）の概要を以下の通り説明した。

1. 需要対策事業

- ①総需要委員会のもとで平成25・28年・年度の油空圧機器需要見通しを作成し、会員企業や関係者に配布した。なお、今年度の見直し作業は中止した。
- ②油空圧機器の受注・生産・需要部門別出荷・輸出入等需要動向等に関する調査を実施し、月報や機関誌・事業報告書等に掲載し関係者に配布した。
- ③需要業界等関連団体の情報や統計資料を迅速に収集し関係者に提供した。
- ④その他需要対策に必要な事業を実施した。

2. 国際交流事業

- ①Fluid Power Industry in Japan 2013年版を発刊した。
- ②平成25年4月に開催されたハノーバーメッセと欧州日系企業視察のための視察団を派遣した。
- ③平成25年4月のハノーバーと平成26年3月にラスベガスで開催された国際油空圧サミット及びISC国際統計委員会に参加した。
- ④経済産業省の海外駐在員の協力を得て、駐在地（北京）の最新情報に関する講演会を12月に開催した。
- ⑤TPPやEPA・FTA等の締結交渉等が行われており、METIとも連携し会員企業へ迅速に情報提供を行うとともに必要に応じ調査を行う等適切に対応した。
- ⑥会員企業の海外進出状況調査を行うとともに安全保障貿易管理等についての情報や資料の収集を行い迅速に提供した。また、平成25年度の経済産業省の政策に係る講演会を開催した。
- ⑦韓国で提訴があった空気圧バルブに関する

ADに対応するための委員会を立ち上げ情報の共有化等を図った。

- ⑧その他海外からの問い合わせ等国際交流に必要な事業を実施した。

3. 標準化事業

イ) ISO対策事業

- ①ISO国際会議へ参加するとともにISO規格回答原案作成事業を実施した。
- ②幹事国業務：ISO/TC131/SC7（密封装置：翻訳、通訳業務等）
- ③わが国提案のISO規格化への推進
ロ) 規格事業

油圧・空気圧機器に関する規格の制定や改廃について検討・審議した。

- ①平成25年4月審議開始分のJIS1件について検討・審議し、改正案を提出した。
- ②平成25年8月審議開始分1件が採用された。
- ③平成25年12月審議開始分1件が採用された。
- ④平成25年度は、12件のJISが発行された。
- ⑤平成25年度は、2件の団体規格を制定した。

4. 技術調査事業

1) 油圧部会及び空気圧部会

- ①各分科会の活動に係わる諸事項の企画調整等を行った。
 - ②フルードパワー産業活性化のための小冊子「フルードパワーの世界」の配布を継続するとともに、同冊子の追補版を作成するための準備を進めた。
 - ③フルードパワー業界活性化のため、油圧及び空気圧機器並びに油圧システム・空気圧システム等に関する業界共通の技術的課題提供につながる技術講演会を実施した。
 - ④産学連携事業を推進するため産学連携懇談会（仮称）を設置し、経済産業省の佐藤大学連携課長から講話を受けるとともに、今後の進め方などについて討議した。
 - ⑤油圧機器業界及び空気圧機器業界の若手技術者懇談会を開催した。
 - ⑥空圧機器業界の知的財産に関する事業を推進するため特許分科会を開催した。
 - ⑦RohsやReach規制等グリーン調達に関する情報を収集し会員各社に提供した。またMETI主催の同講演会に委員を派遣した。
 - ⑧その他油空圧に関する技術問題等に対応した。
- ##### 2) 水圧部会
- ①部会を構成する3グループ（HP・技術資料・

ADS普及)の企画調整を行った。

- ②フルードパワー産業活性化のための小冊子「フルードパワーの世界」の配布を継続するとともに、同冊子の追補版を作成するための準備を進めた。
- ③需要業界や関連業界の国際見本市等の機会を積極的に利用して水圧技術(ADS)の普及促進を図るとともにHPの拡充運用を図った。
- ④国内外の水圧技術に関する現状調査(知的財産問題を含む。)や資料収集等を行った。
- ⑤新St-ADS事業のNEDOプロジェクト化を推進するための諸準備を行った。
- ⑥国内事業の成果を英文化し海外関係機関や大学等に情報発信した。
- ⑦その他水圧に関する技術問題等に対応した。

5. 広報・PR事業

- ①工業会の毎月の活動状況等を取り纏めた「月報フルードパワー」を関係者に電子配信するとともにHPにも掲載し広く広報・PRに努めた。
- ②フルードパワー編集委員会及び同WGを開催し、機関紙「フルードパワー」の編集方針等を審議した。同機関誌は四半期毎に発刊しており、会員企業はもとより関係者にも広く配布するとともにHPに掲載し広報・PRに努めた。
- ③Fluid Power Industry In Japan 2013版を会員企業やJETRO・海外諸団体等へ配布した。
- ④工業会の紹介パンフレットを刷新した。
- ⑤その他広報・PR活動に関する事業を推進した。

(その他事業)

6. 中小企業関連事業

- ①需要業界動向等や中小企業施策等の動向についてMETI等と連携して迅速に情報を収集し中小企業委員会のメンバーに提供するとともに中小企業委員会を年4回開催した。
また、国際委員会と連携し「国際標準化戦略・知財戦略の重要性とわが国の取り組み」に関する講演会を開催した。
- ②消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法に基づき、消費税の転嫁の方法の決定に係る共同行為の実施届出書を、平成26年2月28日に、公正取引委員会に提出し受理された。
- ③中小企業の事業継承について、「事業継承を円滑に行う方法」の課題と事例紹介を中心とした講演会を開催した。

- ④中小企業を支える福利厚生事業の「共済制度」を拡充するため参加企業の拡大を図った。
- ⑤中小企業委員会傘下のWGメンバーがインドネシアの市場動向と進出した日系企業の状況を調査するための調査団を派遣した。
- ⑥中小企業委員会傘下に(仮称)次世代経営を考える会を設置し、工場視察と視察先の経営者との懇談会を2回開催した。
- ⑦その他中小企業の振興に係る事業を実施した。

7. 振興対策事業

1) 振興対策

- ①産機・建機合同部会及びシリンダ部会は年6回、空気圧本部会は年4回開催し、競争と協調のもと秩序ある業界体制の確立を図った。
- ②地域経済の環境変化に対応するため、各地区部会や支部会も適宜開催し、本部委員や事務局も出席して意見交換を行った。
- ③国内外の需要動向等に関し情報収集を行い、関係部会に迅速に提供した。
- ④第24回IFPEX 2014(平成26年9月17日(水)~19日(金)の3日間)を開催するための諸準備を行った。
- ⑤第27回JIMTOF 2012(平成26年10月30日(木)~11月4日(火)の6日間)を開催するための諸準備を行った。
- ⑥その他業界の振興に係る事業を実施した。

2) PL対策事業

- ①本保険制度の基盤を強化するため、ワールド保険(株)等と連携し加入会員を増加させるための未加入会員への情報提供を行う等広報・PR活動を行った。
- ②国内PL情報や海外PL情報を収集し会員企業に迅速に提供した。
- ③「BRICs・VISTA等の新興国にて求められるリスクマネジメントとは」をテーマで11月に講演会を開催した。
- ④新たな製造業者E&O(経済損失カバー)保険制度の普及促進を図るべく、12月に全会員企業にアンケートを実施し、今後の推進方について審議・検討した。
- ⑤その他のPL関連情報の収集と提供等PL対策に係る事業を推進した。

3) その他事業

- ①生産性向上設備投資促進税制の証明書発行機関として、当会が政府に登録されたことを受けて、その実施推進体制の検討を行った。
- ②官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取りまとめ作業を行った。

③年始会や総会及び西日本支部総会並びに懇親ゴルフ会等を開催した。産学連携事業の一環として、大学、高専等の先生方を年始会及び総会並びに西日本支部総会後の懇親会に招待した。

④西日本支部の活動を支援した。

⑤その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施した。

さらに、資料1号で平成25年度の収支決算書(案)の概要を以下の通り説明した。

平成25年度の総収入額は、116百万円強で、これに対し支出は各項目とも節約に努めた結果、事業費支出で77百万円弱、管理費支出で33百万円強で、事業活動収支差額は、6百万円強の黒字となった。一方、投資活動収支差額で80百万円強の赤字が出たが、当期収支差額は5百万円強の黒字となり、さらに前期繰越収支差額が16百万円強あったため、全体では次期繰り越し収支差額が22百万円弱まで積み増せた。この結果を4月10日(木)に開催した監事による監査で詳細に説明して、承認を得た旨説明した。次に議長は、監事に対し監査報告を求め数井監事から監査報告があり、議長は本件を議場に諮り、1~2の質問に対し事務局より説明した結果、異議なく承認された。

次に議長は第2号議案の説明を求め、事務局から資料2号で次期理事及び監事候補者(案)について説明し、議長は本件を議場に諮り、異議なく承認された。さらに議長は第3号議案について説明を求め、事務局から資料3号では本年1月の理事会で承認を得ている平成26年度の事業計画及び収支予算のうち、平成26年度事業計画に記載されている規格事業の1件が4月1日付で90,000円の委託契約ができることと資料1号で説明した決算確定に伴う次期繰り越し収支差額の増額に伴い平成26年度収支予算書を修正した旨説明し、議長は本件を議場に諮り、異議なく了承された。

なお、第1号議案及び第2号議案は、5月15日(木)に開催される定時総会で決議され、第3号議案は報告される。

次に議長は第4号議案以下の説明を求め、事務局から資料により説明し、全ての案件が了承された。資料4号で会員の入退会状況を、資料5号で生産性向上投資促進税制に関する証明書の発行の件を、資料6号で消費税転嫁カルテルの件を、資料7号で平成26年・年度需要見通しを、資料8号で最近の需要動向、今後のスケジュール等を報告した後、理事会は終了した。その後、産学連携事業として、(一社)日本

フルードパワーシステム学会の理事の先生方等13名を交えた懇親会を開催し、和気あいあいのうちに散会した。

平成25年度の事業監査の実施

日時 4月10日(火) 10:00 ~ 11:40

場所 当会会議室

出席者 澤田監事・数井監事

事務局 藤原、鎌原、

議事

平成25年度事業及び収支決算に関する監査が4月10日(木)に当会会議室で行われた。当日は、監事の澤田タイヨーインターナショナル社長及び数井ワールドインシュワランスホールディング会長に、事務局から平成25年度の事業報告及び収支決算書(案)を詳細に説明した。その後、監事は諸書類及び諸帳簿並びに残高証明書等を詳細にチェックし、正確・適正に処理されている旨の講評があった。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

国際交流事業

~~~~~

国際委員会主催セミナー

日時 4月17日(木) 15:00 ~ 16:25

場所 機振会館6D-4会議室

出席者 澤田委員長以下14名

事務局 藤原、鎌原、堀江、唯根

前インドネシアのエネルギー鉱物資源省電力アドバイザーとして3年弱勤務し、本年3月末に帰国した矢野友三郎氏を講師に招き「最近のインドネシア事情」のテーマでセミナーを開催した。当日は、会員企業13名、事務局や関連団体等から11名の皆様方が参加し開催した。始めに澤田国際委員会委員長から開会の挨拶と講師の略歴紹介があり、その後、パワーポイントを用い1. 大国インドネシア 2. インターン生報告 3. 最近の電力事業 4. アジアへの認識の4項目に沿って詳細な解説がありました。

なお、当日使用したパワーポイント資料は、事務局で保管しておりますのでご利用されたい方は、堀江国際部長までご連絡ください。



国際委員会主催セミナー

~~~~~  
標準化事業／ISO 対策事業  
~~~~~

油空圧シール分科会

日 時 4月18日(金) 13:30 ~ 16:30
場 所 機械振興会館 6-61 会議室
出席者 川口主査以下 13 名
事務局 千葉
議 事

川口主査の議事進行により前回議事録及び配付資料確認を行った。まず、シール分科会の平成 25 年度活動報告及び平成 26 年度活動計画案について説明があり承認された。

次に、工業規格 JFPS 1017 「シールの用語」の見直し案についての審議を行った。続いて、ISO 2230 に基づく工業規格「ゴム製シール保管に対する指針」案について審議した。

最後に、ISO 関連事項として ISO 3601-2 の見直し案(米国案)に関する日本の対応について討議し、ISO 6194-2 及び ISO 6194-4 の定期見直し審議コメント、その他の ISO アクションアイテムについての報告があった。

次回開催：7月4日(金) 機械振興会館 6-61 会議室

~~~~~  
標準化事業／規格事業  
~~~~~

フィルタ作動油分科会

日 時 4月14日(月) 13:30 ~ 16:50
場 所 機械振興会館 1-5 会議室
出席者 一楽主査以下 7 名
事務局 千葉
議 事

初めに平成 25 年度活動報告及び平成 26 年度

活動計画を検討し、承認した。続いて投票に掛かっている ISO/DIS 11943 の審議を行い、賛成投票をすることにした。最後に、平成 25 年度区分 C、12 月スタートに登録した JIS B 9932 改正原案について審議した。

次回開催：6月12日(木) 機械振興会館 1-5 会議室

油圧バルブ分科会

日 時 4月15日(火) 13:30 ~ 16:00
場 所 機械振興会館 1-3 会議室
出席者 藤井主査以下 9 名
事務局 千葉
議 事

前回議事録確認後、平成 25 年度活動報告況及び平成 26 年度活動計画を検討し、承認した。

次に投票に掛かっている ISO 定期見直し ISO 6264:1989 について審議した。前回と同じコメントを提出することにした。続いて平成 26 年度 12 月応募予定の JIS B 8659-2 3 方向流量制御弁の試験方法について改訂翻訳作業の分担と日程計画の検討を行った。

今年度より主査は、浦井主査に交代する。

次回開催：7月8日(火) 機械振興会館 1-3 会議室

制御技術分科会

日 時 4月16日(水) 13:30 ~ 16:30
場 所 機械振興会館 1-5 会議室
出席者 渡部委員以下 4 名
事務局 千葉
議 事

初めに平成 25 年度活動報告及び平成 26 年度活動計画を検討し、承認した。次に、2012 年版実用空気圧ポケットブックの正誤表を確認した。続いて今年度テーマである JFPS 2010 空気圧-圧力スイッチ用語の見直し案の性能・特性用語について審議した。

今年度より主査は、田中主査(CKD)に交代する。

次回開催：9月25日(木) 機械振興会館 1-5 会議室

空気圧バルブ分科会

日 時 4月17日(木) 13:30 ~ 16:30
場 所 機械振興会館 1-5 会議室
出席者 丸山主査以下 5 名
事務局 千葉
議 事

前回議事録確認後、投票にかかっている定期見直し ISO/DIS 19973-2 について審議した結果、特にコメントはなかった。続いて、JIS B 8375-3 の廃止について検討し、廃止手続きに入ることにした。最後に、JIS B 8373 の最終案に

ついて、全体を通して確認し、解説に取り上げる項目について検討した。

次回開催：5月8日（木）機振会館1-5会議室

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第498回特許分科会

日時 4月25日（金）13:00～16:30

場所 機械振興会館B2-2会議室

出席者 出澤幹事以下5名

事務局 吉田

議事

前回議事録確認後、継続審議中の案件3件について審議し、引き続き調査することとした。新しく1件について、次回以降審議することとした。

平成25年度特許分科会収支決算書及び平成26年度収支予算書（案）について説明し、承認された。

次回開催：5月23日（金）機振会館6-61会議室

技術委員会水圧部会

日時 4月25日（金）14:00～17:00

場所 機械振興会館6-62会議室

出席者 宮川部会長以下13名

事務局 大橋

議事

宮川部会長の挨拶の後、議事に入った。

① IFPEX2014レイアウト、配布資料、日程検討
前回の検討結果を反映したレイアウト案、ダイレクトメール用パンフレット、サプライヤーズリスト及びA5版パンフレットの各資料を披露し、修正事項等を再確認した。

フジサンケイビジネスアイの荒井次長殿より、部会からの要望事項に対する検討結果の説明を受け、検討・審議の結果、全体日程、費用負担について確認した。配布資料は6月印刷予定とし、5/末を目途に脱稿することとした。
パネル、アテンド用名刺、展示台上の製品名札等はADSとしてデザインを統一する。

来場者情報収集用バーコードリーダーの借用を確認し、アンケートと併用する。DMの発送に関しては、他の工業会・関連団体などにもEメール配信する手段を事務局で検討することとした。次回水圧部会では、出展10社による展示物等の具体的検討・準備会議も兼ねて実施する。

② H.P.及びブログ掲載内容について

消防用高圧水駆動カッターはブログへの掲

載許可が下りたので、事務局でアップ準備を進める。新GLを村田委員にお願いすることとなった。当面IFPEX2014の出展予告について検討を行う。

③ その他

バリアフリー2014展（4/17-19大阪）でのヤエス殿特殊入浴装置の展示状況が披露された。また、「フルードパワーの世界・追補版」の修正結果を確認し、油圧・空気圧を含む全体として見積り依頼段階にあることが報告された。

機関誌編集事務局より来年新年号にIFEPEX2014への特別展示報告記事の執筆依頼があり、承諾したことが部会長から報告された。

次回開催：6月20日（金）機振会館B3-7

~~~~~

#### 広報・PR事業

~~~~~

第86回編集委員会

日時 4月14日（月）15:00～17:00

場所 機械振興会館6-62会議室

出席者 齋藤委員長以下10名

事務局 藤原、大橋

議事

① VOL.28, NO.2（春号）報告

840部印刷し4月15日に入荷予定。本号から新記事「日本留学者の声」が連載となる。ルポルタージュは、10年前に1度訪問している足利工業大学・桜井研究室のその後の研究内容を紹介。

最近、広告・新製品紹介の掲載申し込みが少ないが本号は余白を生じることなく集めることができた。今後、募集方法などに工夫が必要となる。

② NO.3（夏号）～NO.3（秋号）企画編集審議

この2号はIFPEX2014の特集号として企画し、発行を1か月遅らせ8月、11月とする（春号で予告済み）。特集内容は前回と同等とし、夏号は各社の見どころ、秋号は参観記を掲載する。参観記の執筆者は次回WGで検討する。秋号の報告記事として特別展示（水圧）の紹介を行う予定だが、記事配分次第で新年号への移行も検討する。

一般記事は、夏号はほぼ充足、秋号は執筆者未確定記事が数点ある。未定分は各委員の提案表をもとに事務局で再調整することとした承された。

参考として、IFPEX2014の特別展示、セミナー企画などの概要を藤原専務理事から説明した。

③ 年間企画とVOL.29, NO.1（新年号）企画審議

年間で連載中の「技術講座」と「ミニ知識」が秋号で終了する。前回WG以降、新記事を募っているが今後も継続し、事務局で打診中の候補をあ

たる。「ずいひつ」は秋号から新記事となる。

このほか、工業会行事として年に数回行う講演会の要旨を報告記事として掲載していく。春号に掲載した産学連携関連の記事はその一環。

④ 記事提案状況報告

各委員会からの記事提案報告を受け、また顧問委員からコメントをいただいた。

⑤ その他、懸案事項など

欄外の執筆者所属を部門まで記載して専門分野を明示し、かつばらつきをなくすこととした。次回開催：

- ・第104回WG 6月13日(金) 機振会館6-63
- ・第87回委員会 10月3~4日(金~土) 予定

~~~~~  
中小企業関連事業/その他事業  
~~~~~

第1回中小企業委員会

日時 4月9日(水) 15:00 ~ 17:00

場所 機械振興会館5S-1会議室

出席者 十万委員長以下15名

事務局 藤原、大橋

議事

1. 講演

十万委員長の挨拶の後、「ものづくり中小企業施策・小規模事業者支援施策について」のテーマで中小企業庁中小企業支援部創業・技術課課長補佐潮高史様から講演をしていただいた。

中小企業ものづくり基盤技術高度化に関する法律の計画認定を受けた中小企業・小規模事業者を含む共同体に対する補助支援事業(通称:サポイン制度)概要と、予算規模、募集期間、変更点、平成18年度からの実績、成果例が紹介された。主な変更点は、技術分野が22から11に、委託から補助事業に、支援対象が販路開拓までとなったことなど。

あわせて中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(平成25年度補正予算)について、試作品開発・設備投資等の支援の概要が紹介された。事業のタイプと補助金額、補助対象・非対象経費費、本年スケジュールなどについて説明があった。

なお、4月15日付の中小企業庁のHPに以下のURLで公募開始が掲載されている。

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2014/0410SenryakuKoubo.htm>

2. 出席各社の現況報告

出席各社の近況は、納入業種によるばらつき

はあるが、概して売上・受注とも数~5%程度上昇している。今のところ消費税率変更の影響はさほどではないが、補用品の駆込み需要なども一部にみられた。ミニ建機、トラッククレーンが好調で売上げ増となったが、アップ率の上昇は前年までの低迷の反動である。昨年同様全体として決して良くないとの報告もあった。

3. 事務局からの報告

平成26年・年度需要見通し/消費税対策カルテル/生産性向上設備投資促進税制に関する証明書の発行/フルードパワー共済制度の今年度募集等について配布資料を基に事務局から報告・解説を行った。

投資促進税制に関する証明書発行は、理事会で承認が得られたのち、要求に応じて発行依頼書、先端設備に係る仕様証明書等の様式を配布、併せてホームページに掲載する。必要書類に記載いただき工業会へ提出し、原則書類審査で判断することになる。

次回開催:7月16日(水) 機振会館5S-1

~~~~~  
振興対策事業  
~~~~~

空気圧本部会

日時 4月15日(火) 15:00 ~ 16:30

場所 機振会館6S-2会議室

出席者 富田本部長以下10名

事務局 藤原、唯根

議事

本部長の開会の挨拶の後、事務局から総需要委員会でもとめた平成26年・年度の需要見通しについて概要を説明した。その後、最近の景況感等について意見交換を行うとともに会計報告を行い承認された。次に6月に開催する総会について内容を報告した。

次回開催:6月4日(水)~5日(木)

伊豆長岡「三養荘」

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆アズビルTACO(株)会長の退任

(正会員)平成26年3月31日付
(退任)

アズビルTACO株式会社

代表取締役会長 小川 時 明

4月1日付で同社取締役就任

☆川崎重工業（株）精密機械カンパニープレジ
デントの交代

（正会員）平成 26 年 4 月 1 日付
（新 任）
川崎重工業株式会社 精密機械カンパニー
プレジデント
常務執行役員 肥 田 一 雄
（退 任）
川崎重工業株式会社
取締役 園 田 誠

☆KYB 株式会社 H・C 事業本部長の交代

（正会員）平成 26 年 4 月 1 日付
（新 任）
KYB 株式会社
常務執行役員 大 江 泰 夫
（退 任）
KYB 株式会社
取締役専務執行役員 中 島 康 輔

☆平成 26 年 4 月より下記の 2 社が賛助会員と
して入会されました。よろしくお願ひいたし
ます。

（賛助会員）
株式会社ソディック (Sodick Co., Ltd)
代表取締役社長 金子 雄二 殿
本社
〒224-8522
神奈川県横浜市都筑区仲町台 3-12-1
TEL: 045-942-3111 FAX: 045-943-7883
URL: <http://www.sodick.co.jp/>
創 立 1971 年 2 月
資本金 207 億 7,575 万 6,958 円
事業内容・特色
*放電加工機等各種工作機械・射出成型機・
食品機械等の製造・販売

（賛助会員）
日本エンギス株式会社
代表取締役社長 西 敬三郎
本社
〒224-0044
神奈川県横浜市都筑区川向町 1360 番地
TEL: 045-474-0666 FAX: 045-474-0677
URL: <http://www.engis.co.jp/>
創 立 1983 年 3 月
資本金 50 百万円
事業内容・特色
*精密機器 (Engis Bore Finishing System
&Tools, Engis Hyprez Diamond Lapping

System) の製造・販売

☆訃報のお知らせ

元株式会社コガネイ代表取締役社長、会長
で当会副会長の川俣博昭氏 (享年 88 才) が 4
月 9 日にご逝去された旨の連絡がありました
のでお知らせします。なお、ご葬儀についま
しては、4 月 14 日に近親者のみで執り行われ
ました。また、ご遺族より香典、供花、弔電、
弔問につきましては、固くご辞退とのお申し
出がございましたので重ねてお知らせしま
す。

~~~~~

工業会ニュース

~~~~~

☆5 月よりクールビズを導入

当工業会では、本年も 5 月 1 日 (木) ~10
月 31 日 (金) までの間「クール・ビズ」を
導入しますのでお知らせします。期間中の
工業会開催の会議への出席については、軽装
(ノーネクタイ・ノー上着等) でご出席下さ
い。

なお、経済産業省からも同期間中は「クー
ルビズ」を導入する旨の連絡があり、同省へ
の訪問も「クールビズ」でよいとのこと。

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

*平成 26 年

☆5 月 15 日 (木) 平成 26 年度 定時総会
及び臨時理事会

(場 所) 東京プリンスホテル

☆5 月 15 日 (木) 総会後の懇親会

(場 所) 東京プリンスホテル

☆5 月 16 日 (金) 懇親ゴルフ会

(場 所) 程ヶ谷カントリー倶楽部
OUT・IN 各 3 組

☆6 月 24 日 (火) 標準化・技術合同委員会

(場 所) 機振会館

☆7 月 16 日 (水) 第 2 回中小企業委員会

(場 所) 機振会館

☆9 月 17 日 (水) ~9 月 19 日 (金)

第 24 回 IFPEX 2014 開催

(場 所) 東京ビックサイト

☆10 月 8 日 (水) 第 3 回中小企業委員会

(場 所) 機振会館

☆10月30日(木)～11月4日(火)
第27回JIMTOF 2014開催
(場所)東京ビックサイト

*平成27年
☆1月16日(金)年始会及び第72回理事会
(場所)東京プリンスホテル
☆2月18日(水)第4回中小企業委員会
(場所)機振会館

~~~~~  
4月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~  
(国際交流事業)
最近のインドネシア事情に係るセミナー
開催日 4月17日(木)
出席者
委員長 澤田敬之(タイオンタショナル)
委員 北畠多門(SMC)
〃 大前 聡(KYB)
〃 市村理明(CKD)
〃 小西正幸(TAIYO)
〃 國峯彰太(経済産業省)
参加者 山岸博之(神威産業)
〃 佐藤浩一(KYB)
〃 高野和治(光陽精機)
〃 松村和宣(CKD)
〃 杉崎秀之(廣瀬バルブ工業)
〃 星野雅志(マレフフィルターシステムズ)
〃 鈴木洋一(ヤマシンフィルタ)
〃 数井純一(ワールドインシユアランスホールディングス)

(標準化事業/ISO対策事業)
油空圧シール分科会
開催日 4月18日(金)
出席者
主査 川口 葵(阪上製作所)
委員 小畑博美(三菱電線工業)
〃 南 暢(日本バルカー工業)
〃 中尾雅司(NOK)
〃 方波見栄次(荒井製作所)
〃 保科俊明(SMC)
〃 深町哲也(CKD)
〃 太田正貴(阪上製作所)
〃 細川 敦(三菱電線工業)
〃 相場宣慶(東京計器)
〃 北村 剛(油研工業)
〃 小田敏裕(甲南電機)

〃 堀田秀和(TAIYO)
(標準化事業/規格事業)
フィルタ・作動油分科会
開催日 4月14日(月)
出席者
主査 一楽義彦(大生工業)
委員 三好真介(MORESCO)
〃 水上 敬(リオン)
〃 長谷川良知(SMC)
〃 富澤愛喜(ボッシュ・レックスロス)
〃 難波竹巳(日本ポール)
〃 吉田龍馬(コスモ石油ルブリカンツ)

油圧バルブ分科会
開催日 4月15日(火)
出席者
主査 藤井 篤(KYB)
委員 松田幹人(川崎重工業)
〃 高野一治(油研工業)
〃 小倉祐二(不二越)
〃 浦井隆宏(ボッシュ・レックスロス)
〃 野田隆明(ダイキン工業)
〃 加藤靖丈(豊興工業)
〃 森田浩司(廣瀬バルブ工業)
〃 中村雅之(KYB)

制御技術分科会
開催日 4月16日(水)
出席者
委員 渡辺俊之(TAIYO)
〃 加藤猛美(コガネイ)
〃 金子幸夫(コガネイ)
〃 八手又秀浩(日本ピスコ)
〃 楊 春明(SMC)

空気圧バルブ分科会
開催日 4月17日(木)
出席者
主査 丸山哲郎(SMC)
委員 河野喜之(甲南電機)
〃 中古 弘(TAIYO)
〃 石毛浩二(クロダニューマティクス)
〃 夏目清辰(CKD)

(技術調査事業)
技術委員会空気圧部会第498回特許分科会
開催日 4月25日(金)
出席者
幹事 出澤 大(クロダニューマティクス)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 委員 井野雅康 (SMC) | // 高橋征爾 (富士エンジニアリング) |
| // 赤松直人 (甲南電機) | // 増田堅太郎 (増田製作所) |
| // 佐藤 浩 (コガネイ) | // 三尾行康 (三尾製作所) |
| // 伊藤雄一 (CKD) | // 越湖修二 (マツイ) |
| | // 國峯彰太 (経済産業省) |

技術委員会水圧部会

開催日 4月25日 (金)

出席者

部会長 宮川新平 (KYB)

委員 大林義博 (KYB)

- // 井口 務 (廣瀬バルブ工業)
- // 小倉文明 (マルヤマエクセル)
- // 柿木宗久 (タイヨーインターナショナル)
- // 志岐英伸 (大電)
- // 江口卓弥 (大電)
- // 村田秀紀 (阪上製作所)
- // 長田純一 (阪上製作所)
- // 細井耕平 (堀内機械)
- // 村上康裕 (村上製作所)
- // 荒井一則 (フジサンケイシステム)
- // 上片平亮 (フジサンケイシステム)

(振興対策事業)

空気圧本部会

開催日 4月15日 (火)

出席者

委員長 富田勝憲 (SMC)

副委員長 内永恭一 (CKD)

幹事 中村賢次 (ニューエラー)

委員 柳沢茂美 (オリオン機械)

// 安藤一義 (クロダニューマティクス)

// 長谷川靖 (甲南電機)

// 川崎久士 (コガネイ)

// 渡部隆之 (TAIYO)

// 澤田敬之

(タイヨーインターナショナル)

// 平井研三 (日本精機)

第86回編集委員会

開催日 4月14日 (月)

出席者

委員長 齋藤圭介 (KYB)

副委員長 水野純一 (CKD)

WG主査 前畑一英 (KYB)

顧問 北川 能 (東京工業大学)

// 田中 豊 (法政大学)

委員 加藤猛美 (コガネイ)

// 高崎邦彦 (TAIYO)

// 永井茂和 (SMC)

// 宮坂 篤 (油研工業)

// 吉村知久 (川崎重工業)

(中小企業関連事業/その他事業)

第1回中小企業委員会

開催日 4月9日 (水)

出席者

委員長 十万幹雄 (神威産業)

委員 松田庄三郎 (光陽精機)

// 向 恭男 (大生工業)

// 高橋健司 (大生工業)

// 澤田敬之 (タイヨーインターナショナル)

// 真嶋利博 (タカコ)

// 野村和史 (南武)

// 紅林幸久 (日本オイルポンプ)

// 杉村登夢 (日本アキュムレータ)

// 廣瀬一輝 (廣瀬バルブ工業)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<4月>

9日 (水)

・中小企業 (委)

10日 (木)

・平成25年度事業・経理に関する監査/監事

14日 (月)

・第86回編集委員会

・標準化 (委) フィルタ作動油分科会

15日 (火)

・標準化 (委) 油圧バルブ分科会

・振興対策 空気圧本部会

16日

・標準化 (委) 制御技術分科会

17日 (木)

・技術 (委) St-ADS 委員会 (延期)

・国際交流 (委) セミナー開催

・標準化 (委) 空気圧バルブ分科会

18日 (金)

・第70回理事会

・油空圧シール分科会

23日 (水)

・振興対策 シリンダ部会

25日 (金)

・技術 (委) 空気圧部会第498回特許分科会

・技術（委）水圧部会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
